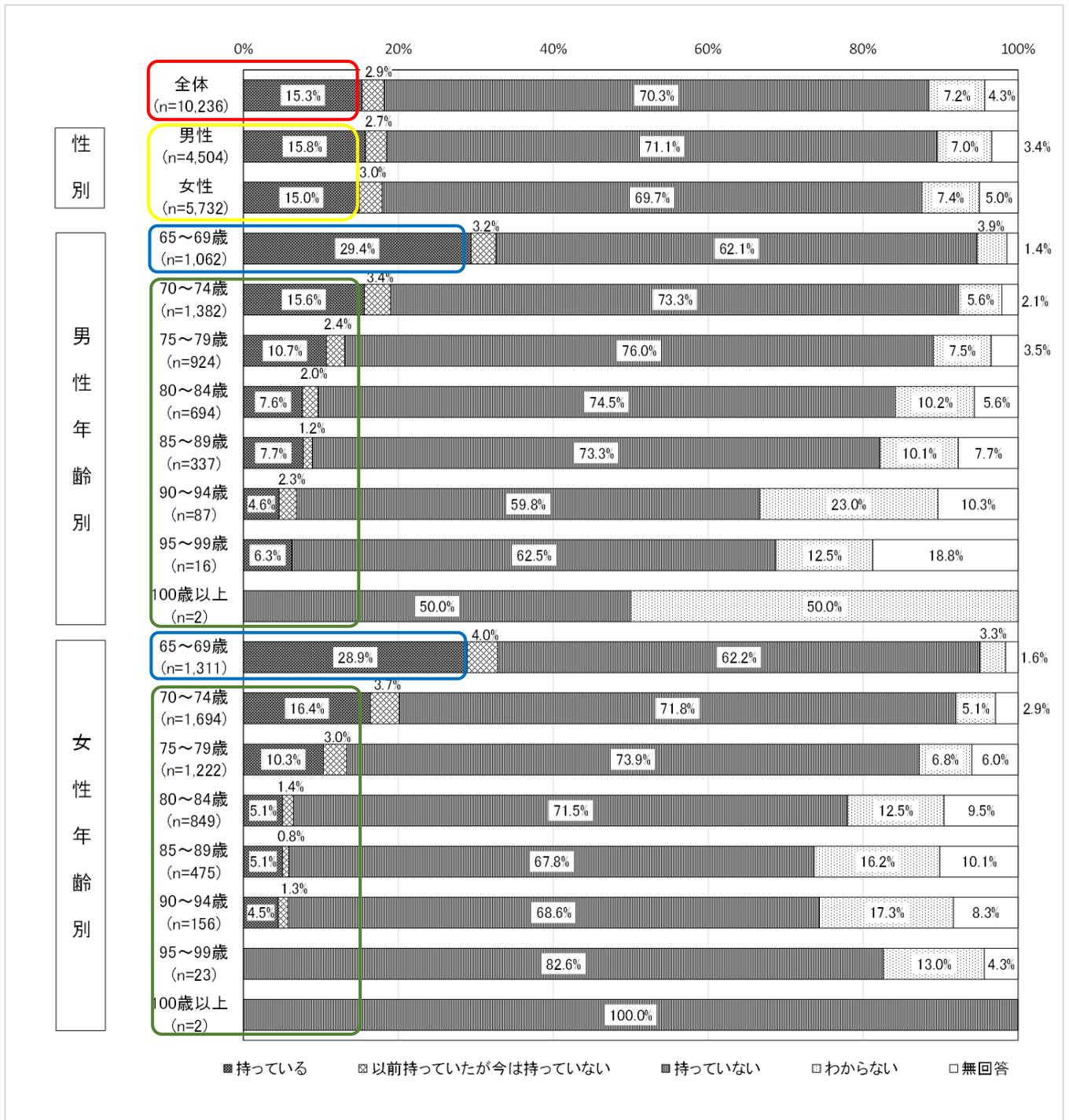


### 議題3 交通系 ICカードの普及・利用状況について

#### 1. 高齢者における交通系 ICカードの普及状況

65歳以上の大分市民を対象とした調査によると、交通系 IC カード(ニモカなど)を持っているかについて、全体では 15.3%が「持っている」と回答している。性別で見ると、男性が 15.8%、女性が 15.0%となっている。

年齢別では、「70歳以上」で 11.2%、「70歳未満」で 29.1%となっている。男女ともに年齢が高くなるにつれて「持っている」の割合が低くなる傾向にある。



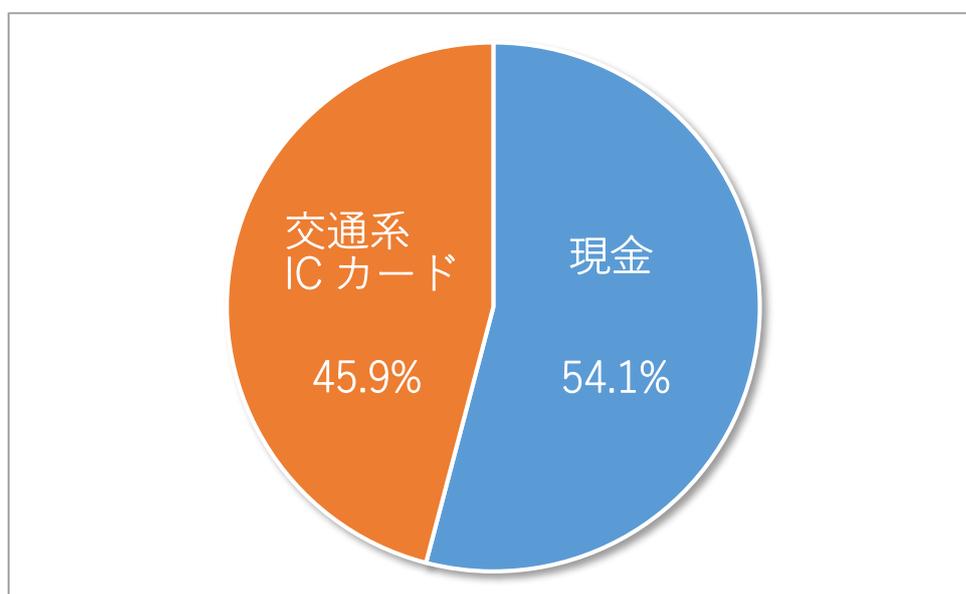
## 2. 路線バスにおける交通系 IC カードの利用状況

大分バス（株）及び大分交通（株）の路線バスの運賃支払いにおける現金と交通系 IC カードの令和 4 年度の内訳は、下記グラフのとおり、現金が 54.1%、交通系 IC カードが 45.9%となっている。

また、平成 25 年度から令和 4 年度の 10 年間の内訳の推移を見ると、下記表のとおり、交通系 IC カードの割合が増加傾向となっている。

利用されている交通系 IC カードの種類は、nimoca（ニモカ）がいちばん多く、その次に Suica（スイカ）、SUGOCA（スゴカ）が多い（大分バス(株)調べ）。

【グラフ】 路線バスの運賃支払いにおける現金と交通系 IC カードの内訳



※長寿応援バス事業による運賃は全て現金（54.1%）に含まれる。

【表】 直近 10 年間の現金と交通系 IC カードの内訳の推移

単位：%

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
現金	62.2	62.7	62.5	62.5	61.3	60.5	60.6	56.8	56.3	54.1
交通系 IC カード	37.8	37.3	37.5	37.5	38.7	39.5	39.4	43.2	43.7	45.9

※大分バス（株）、大分交通（株）の提供資料により作成。

※上記内訳は、収入金額を基に算出し、両社のデータを合算。

※両社とも大分市以外の路線バスを含む。